

長崎秋季大会シンポジウム概要

誌名	水産海洋研究会報
ISSN	03889149
巻/号	2号
掲載ページ	p. 12
発行年月	1963年3月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター
Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council
Secretariat



4. 長崎秋季大会シンポジウム概要

西日本近海、東海方面の海況
変動と漁況変動の関連

日本海洋学会 共催 水産生物環境
日本水産大学 シンポジウム

日 時 昭和37年11月5日(月) 9.00~17.20

場 所 長崎市出島 長崎県農協会館

- (1) 辻田時美氏(田海区水研)：西日本近海、東海方面のアジサバ資源の
漁場別密度と漁場の変化
- (2) 千田哲資氏(岡山県水試)：西日本海域の水塊と稚魚の出現
- (3) 藤井正之氏(オ10管区海上保安本部)：九州南方海域の海流変動
- (4) 小泉政美氏(長崎海洋气象台)：東シナ海の表面水温季節変化及びト
カラ海峡と対馬海峡における水温変動
- (5) 宇田道隆氏(東京水大)：欧州水産海洋調査の現状
- (6) 柴田市平氏(丸よ水産、巻網漁業経歴30年)：西日本近海巻網漁業
と漁況の変遷
- (7) 川西茂次氏(茂丸漁業、延縄漁業経歴40年)：東シナ海方面の延縄、
サバはね釣り漁業の変遷
- (8) 黒木敏郎氏(北大水産)：漁況海況の生物物理学的な考え方
- (9) 宇田道隆氏(東京水大)：西日本、東シナ海方面の海況漁況の問題点

(以上につき、辻田時美委員の編集による原稿記事が本報には間に合わなかつたので次報にゆずります)。(宇田道隆記)